

上智大学哲学研究科主催
秋の特別講演会

Dr. Dr. Friedo Ricken S. J.

(em. Professor an der Hochschule für Philosophie München)

講演題目

„Philosophy of Religion Today“

日時：2009年10月17日（土）15:00-17:00

会場：上智大学2号館 5階 2-510室

原稿はドイツ語ですが、講演は英語で行っていただきます。また、聴講者全員にドイツ語原稿からの日本語全訳を配布します。上智大学在校生は勿論のこと、卒業生も含め広く宗教哲学に関心をもつ方々の来校を願っております。

来聴歓迎 参加無料

Friedo Ricken (1936 -) 先生は、Heidelberg 大学でアリストテレスの倫理学についての博士論文で博士課程を修了した後、永らくミュンヘンの哲学専門の大学 Hochschule für Philosophie を中心に古代から現代までの倫理学及び哲学史（特に古代）を教えてこられました。2006年度以降は退官教授ですが、未だ同大学で Oberseminar などの担当と博士課程・修士課程の多くの学生を指導し、また米国を初め他の多くの大学で客員教授を勤め現役で活躍中です。プラトン主義のキリスト教神学への影響作用史についての研究で神学の博士号も取得されています。ドイツ語圏で現代の言語分析哲学からの学問論・倫理学理論上の論争において活発に活動してこられましたが、近年は特に現代における宗教哲学についての論文が多く、以下にその主要著書と編集本を挙げました。今回は、先生の今日の主要関心領域から『今日における宗教哲学』という題目で講演していただくことにします。特に上智哲学会会員の皆様は、18日の上智哲学会秋の大会の前日ですが、奮って御参加くださいますよう、お願い申し上げます。

- Friedo Ricken, Religionsphilosophie (Grundkurs Philosophie 17), Stuttgart 2003 376 S.
- Friedo Ricken, Glauben weil es vernünftig ist, Stuttgart 2007,
- Friedo Ricken (Hrsg.), Religiöse Erfahrung. Ein interdisziplinärer Klärungsversuch, Stuttgart 2004